

UHK

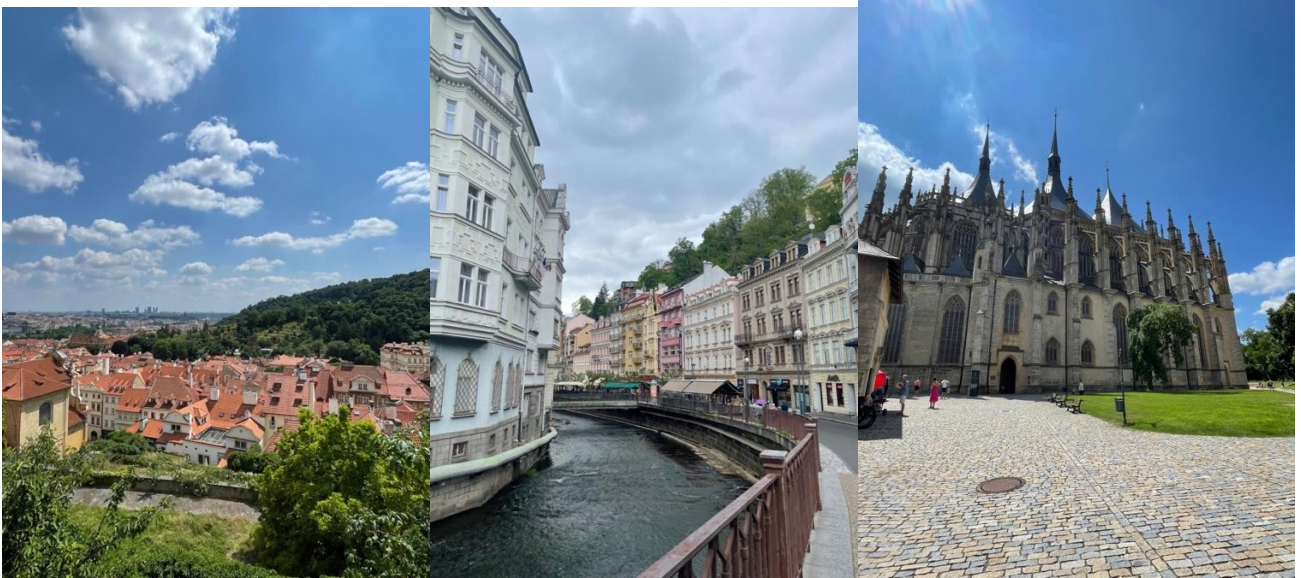
フラデツ・クラロヴェ大学 University of Hradec Kralove

砂川朝博



1. はじめに

私は今回高知工科大の科目履修留学プログラムを利用しチェコ共和国のフラデツ・クラロヴェ大学に summer semester の交換留学に行ってきました。チェコは中欧に位置していて周辺各国へのアクセスもとても良い国です。また EU に属していながらユーロを導入せず、独自のチェコ・コルナも利用しているため他のヨーロッパ諸国に比べ比較的物価も安く生活しやすい国です。ここではチェコでの留學生活の様子をまとめていきます。



↑ プラハ、Karlovy Vary、Kutna Hora の写真

2. 事務的な手続き

まず留学するにあたって必要になるのが VISA の申請です。前々から国際課の方に VISA の申請には時間がかかるということ、幸運にも 2 月からの後半のセメスターだったので大使館にアポイントがすぐ取れたこともあり私の場合は比較的早めに受け取ることができたと思います。それでも 2 ヶ月ほどかかりました。

3. 学校について

UHK には私の所属していた FIM (Faculty informatic and management) の他に Education, philosophy, Science の 4 つの学部があります。キャンパス内の共有ブースはソファの他にもカフェや電子レンジ備え付けのカフェテリアがありました。授業について、私は専門科目 2 つ、言語科目 2 つ、スポーツ 1 つの計 5 科目、17 Credit を獲得しました。以下では授業内容について簡単に説明します。(言語科目は前のセメスターの先輩方と同じ内容なのでここでは省略します。)

- **International economic**

この授業では Bop や HDI など経済の指標を用いて世界中の国々を区分化し、それぞれの課題や自国の見られ方について学ぶことができます。私が一番楽しかったのもこの授業です。先生がガーナ人なので、途上国のリアルについて学ぶことができ、とても考えることが多い授業で

した。

- **Macroeconomics 1**

この授業ではマクロ経済について学びます。KUT でもマクロ経済学 1、2 の授業が開講されていますが、難易度はそれら以上だったと思います。一番大変でした。Keynesian モデルなど日本語でも難しい内容でした。特にテストが 6 題の論述を 45 分以内に解かなければならなかったのも、英作文の能力に加えて、専門の英単語、基礎的な英語力が求められました。

- **Sport**

この授業は毎週開講されているものから、宿泊を伴うものまでたくさんありました。何個でも履修することができるので、お金に余裕があればたくさん履修することをお勧めします。私はクロアチアでの Swimming コースを選択して、9 日間 Primosten でキャンプをしながら、SUP やカヤック、シュノーケリングを行いました。チェコ人の学生とも仲良くなれて楽しかったです。



4. 生活について

Hradec Kralove は治安のいい町なので特に注意すべきことはないと思います。また寮の周りにはスーパーが徒歩 3 ～ 15 分圏内に 4 つあったので高知よりも快適でした。ここでは寮生活と旅行、ア

クテビティに分けて紹介します。



↖ Hradec Kralove の
city center の様子

● 寮生活

UHK には一人部屋がなく、ルームシェアをするので僕の場合は3人ルームメイトがいました。毎月友達をたくさん呼んで部屋でパーティーをしたりキッチンの洗い物をそのままにする人、自分で何もできない人、正直異なる環境で育った人たちなので生活スタイルの違いに苦しむこともありましたが、結果的には仲良くなることができました。そしてたまにはご飯をシェアしたりして食文化の違いにも触れることができました。



↑ ルームパーティ、一緒に旅行したサン・ピエトロ大聖堂

● 旅行

EU 圏内では出入国がとても単純なので他の国に旅行に行ったりもしました。特にパリでは学生ビザを提示すると無料で入場できる場所も多かったなのでお勧めです。Flix bus の学割を使うと安価でヨーロッパの国々を回ることができます。



パリ、ヴェネツィア、ブダペスト

● アクテビティ

私は卓球をしていたので TJ Sokol HK に所属して、2～4 月の間チェコリーグ 3 部に参加しました。Sokol には卓球の他にもバスケットボールやフットボール、ホッケーなどの競技がありました。また Hradec Kralove には Sokol に他にも Slavia、Montas といったチームがあったので、スポーツを通じた交流もできると思います。さらに「チェコ日本会」という日本人の交流イベントが年に 2 回ほど主催されていて、そこではチェコに正規留学している学生、芸術留学の学生、駐在員、シンプルに日本が好きな方々が集まりました。私がたまたま参加したのがチェコに来て 1 週間目くらいだったのでチェコでの生活の仕方やライフラインなどたくさんアドバイスをもらえて、留学生活の間助かりました。



↑ Sokol のチームメイトとの写真



参加したチェコ日本会の写真

5. 留学を終えて

この留学を通して一番は自信と根性がついたと思います。私自身、宮古島で過ごしていたこともあって、高校までは電車の切符の買い方もいまいち分からなかったのですが、今は一人でもヨーロッパの国々を回れるようになりました。直面した課題を自分の力で解決することによって人間として成長できたと思います。このレポートを読んで留学を検討している方は、ぜひ留学をして外から日本を見ることで良い点や悪い点を見つけることができます。また自分の専門分野を英語で学ぶことで、これまでとは違った視点から学ぶことができます。たくさんの方々の支援があって、充実した留学生活を送ることができました。ありがとうございました。